



修学旅行

6月24日(日)に私たちの団は、思いを馳せていた沖縄へと旅立ちました。沖縄は亜熱帯でとても暑かったですが、本当にここがかつて地上戦が行われたのかわからないくらい景色は綺麗でした。

平和学習では、ひめゆりの塔や、旧海軍司令部壕、平和祈念資料館で戦争の体験談や傷跡を見て、戦争への畏怖や、平和に今を生き延びたことへの感謝の念が今までよりも一層強くなりました。

また、琉球ガラス村のコップ作り体験やエイサー鑑賞など沖縄の文化にも触れ、特に圧巻のハブショーは思い出に残っています。古宇利島のオーシャンタワーには、綺麗な貝や珊瑚が沢山ありました。

修学旅行を通してクラスの仲間とも打ち解けることができました。これからの学校生活でも、ともに切磋琢磨していきたいです。

中山 諒翔(春日北中)



オーストラリア研修

私たちは7月14日から3週間、オーストラリアに短期語学研修へ行ってきました。実際に現地の学校で授業に参加し、異なる文化や環境の中で共同生活を送りました。始めは言葉の壁を感じ、現地の学生らと会話する際にたくさんの不安がありました。自分の思いが伝わるように考え、工夫して乗り越えることができました。

今回の研修が、多くの方々のサポートがあって無事終わることができたことへの感謝を忘れず、研修で得た経験と自信をこれからの学生生活に役立てていきたいです。

小島 奎晟(三輪中)



九州産業高校の雰囲気を実際に体感できるチャンス!

平成30年度 九州産業大学付属九州産業高等学校 オープンスクール

<p>オープンスクール(中学生・保護者向け)</p> <p>開催日 10/6(土)・27(土) 11/17(土)</p> <p>時間 10:00~13:00</p> <p>※参加お申し込みは中学校を通して申し込みください。 ※車の来校はご遠慮ください。 ※上履きをご準備ください。</p>	<p>平日夜の学校説明会(保護者向け)</p> <p>開催日 10/19(金)・11/21(水)</p> <p>時間 19:00~20:00</p> <p>※参加お申し込みは本校まで直接(ホームページ・メール・FAX・電話)お申し込みください。</p>
--	--



第57回 体育祭 開催

9月11日(火)、第57回体育祭が行なわれました。今年度は早い時期から各団のブロックリーダーによる準備が行われ、新たな競技が取り入れられるなど、昨年度よりも一段と活気に満ちた体育祭となりました。なかなか天候に恵まれず、競技の練習時間が十分に取れないなど不安を残しながら迎えた体育祭当日でしたが、生徒一人ひとりが主体性を発揮し、一致団結することで大いに盛り上がることができました。



第11回 紫祭 開催

6月19日(火)、本校の文化祭である第11回紫祭が開催されました。今年度より1学期開催となった紫祭でしたが、「change」のテーマのもと、各クラス、各クラブ、有志らがそれぞれ工夫を凝らしていました。

オープニングセレモニーでは、本校の教員と生徒が音楽を通じてコラボレーションし、華やかに紫祭の開会を告げました。各学年でテーマが設定されており、3年生は「もてなす」をテーマとして、多くの飲食物が提供されました。また1年生は「演出する」、2年生は「体験する」のテーマのもと、各クラスの趣向を凝らした出展がなされ、大きな盛り上がりを見せました。普通科・機械科の垣根を越え、機械科の実習を普通科の生徒が体験するなど、本校独自の取り組みも見られました。また体育館では有志によるダンスやバンド演奏、ヲタ芸など様々なものが披露されました。



表札づくり(鑄造)・木工製品づくり体験

7月29日(日)、本校実習棟にて筑紫野市の小・中学生を対象とした「ものづくり教室」を開催しました。当日は子どもたちだけでなく、保護者の方々にも参加いただき、表札づくりや木工製品づくり体験教室を行うことができました。本校の機械科生徒によるボランティアスタッフの指導の下、鑄造の型作りや木工製品づくりでの道具の使い方講座などを行いました。

今回、私は鑄造体験のサポート役としてこの体験教室に参加しました。参加者の中には小学生も多く、安全面に気を付けつつ、楽しく作業ができるように心掛けました。作業終了後に完成した表札を参加者に渡したときは、今まで感じたことのない達成感があり、自分にとっても貴重な体験になりました。
川上 敦(那珂川中)



インターハイ「2018 彩る感動 東海総体」

ハンドボール部 HANDBALL



全国選抜大会に続き、三重県で行われたインターハイに出場しました。初戦に勝利して迎えた2回戦では選抜準優勝校の駿台甲府高校が相手でしたが、大学生と練習してきたプレーが冴え、前半1点差と肉薄しました。しかし後半に入り、基本的なミスでリズムを崩し、一度はリードしていたものの、惜敗しました。手応えはあっただけに悔しさが残る試合になりましたが、この1年間多くの大会に出場することができ、良い経験になりました。この経験を胸にこれからも頑張っていきたいです。

藤川 優斗(多々良中央中)

■インターハイ出場選手名

宮本 雅也(大和中) 青木 司(吉塚中)
藤川 優斗(多々良中央中) 和田 友作(大和中)
溝口 雅也(花畑中) 藤井 志光(花畑中)
富井 晴貴(日佐中) 清藤 修(花畑中)
水上 大地(宇美東中) 西岡 佑輔(那珂川南中)
青藤 魁(宇美東中) 川津 征(多々良中央中)
江頭 魁世(宇美東中) 香月 海音(多々良中央中)

男子ソフトボール部 SOFTBALL



創部5年目にして、今回初めてインターハイ出場を果たしました。1回戦の試合は、緊張や不安もありましたが、皆で声を出し励まし合い勝利することができました。2回戦は相手チームの日本代表ピッチャーに気後れすることなくプレーしましたが、最後はサヨナラ負けしてしまいました。

非常に最後は悔しい思いをしましたが、ソフトボールを通して、これまで学んできたことを活かして、次は自分の進路実現に向かって頑張っていきたいです。

渡辺 航矢(平野中)

■インターハイ出場選手名

森川 亮(板付中) 野口 知樹(北野中)
永松 幸太郎(二日市中) 野口 真幸(平野中)
今林 優太(片江中) 石橋 湊太(三國中)
高木 大成(小郡中) 中川 大輝(春日西中)
武市 貴汰(春日西中) 高原 健斗(志免東中)
高木 拓真(春日東中) 渡辺 智貴(那珂川中)
渡辺 航矢(平野中) 馬場 翔太(春日南中)
山内 実(三宅中) 関島 広樹(春日東中)
井上 圭(那珂川北中) 大谷 志織(学院院中)

陸上競技部 TRACK AND FIELD



私たち陸上部は「日本一」を目標に日頃の練習に取り組んできました。今年は14名がインターハイに出場することができました。私は4x100mリレーに出場し、全国大会のレベルの高さを実感しました。結果は0.002秒差で準決勝進出を逃してしまいましたが、インターハイという大舞台に挑めたことは私たちにとって大きな財産となりました。この経験をこれからの自分の人生に活かしていきたいです。また今まで支えて下さった先生方や家族、一緒に戦った仲間たちに感謝しています。

宮本 駿(香椎第三中)

■インターハイ出場種目・選手名

○男子200m 國崎 大我(席田中)
重谷 大樹(三國中) 石井 大聖(西福岡中)
○男子ハンマー投げ 西本 有佳里(姪浜中)
菊池 傑太(春日野中) 阿南 真奈(筑紫野南中)
○男子4x100mリレー 井上 さつき(香椎第二中)
吉田 晃(志免中) 白石 也実(太宰府中)
重谷 大樹(三國中) 宮本 駿(香椎第三中) 小幡 紀子(宇美中)
桃崎 優平(西陵中) 中村 菜緒(二日市中)

保護者会 会務報告

平成30年6月から
平成30年8月まで

1. 委員会開催について
【開催日時】平成30年6月2日(土) 12時30分より13時15分まで
【場所】九州産業高等学校 多目的A
下記のとおり審議されました。

- (1)平成29年度収支決算の承認について
事務局より資料に基づき内容説明後、審議監査より監査報告が行われ、審議の結果提案どおり承認されました。
 - (2)平成30年度収支予算(案)の議決について
事務局より資料に基づき内容説明後、審議され原案どおり承認されました。
 - (3)役員改選について
このたび旧3年生委員には、ご子息の卒業に伴い退任されることになり、後任委員の新1年生委員より副会長1名、監査1名の選出を諮り、互選の結果副会長に神屋委員、監査に平島委員がそれぞれ選出され、併せて新会長に古田前副 会長の就任が満場一致にて承認されました。
 - (4)保護者会奨学生の選出について
平成30年度保護者会奨学生候補として選出された3年生16名、2年生12名について諮られ、奨学生と決定することが承認され総会席上で表彰することが併せて承認されました。
 - (5)「謝恩に関する内規」の変更について
議長より、「謝恩に関する内規」の一部変更について審議を諮り承認されました。
- 前役員方への感謝状贈呈について
懇会長はじめ20名の前役員方へ、校長から謝辞が述べられ、感謝状並びに記念品が贈呈されました。

2. 定期総会開催について
【開催日時】平成30年6月2日(土) 13時30分より14時15分まで
【場所】九州産業高等学校 体育館2Fアリーナ
総会開催に先立ち、選抜された平成30年度保護者会奨学生に対し、懇会長より表彰状並びに奨学金が授与されました。総会は下記の通り審議されました。

- (1)平成29年度収支決算の承認について
事務局より資料に基づき内容説明後、審議監査より監査報告が行われ、審議の結果提案どおり承認されました。
 - (2)平成30年度収支予算(案)の議決について
事務局より資料に基づき内容説明後、審議され原案どおり承認されました。
 - (3)役員改選について
新委員の選出については、入学式後開催された保護者会入会式にて、学校側に一任することで了承を得ており、このたび選出された候補者について先の委員会承認された旨報告されました。このうち副会長及び監査の選出について委員互選の結果、副会長に神屋委員が、監査に平島委員が選出され、併せて会長に古田前副会長が就任されたことを説明、議長より承認について諮り、満場一致にて承認されました。
 - (4)「謝恩に関する内規」の変更について
議長より、「謝恩に関する内規」の一部変更について審議を諮り承認されました。議案審議終了後、懇会長より退任の挨拶、並びに古田新会長より会長就任の挨拶が行われました。
- 初秋を迎え朝夕は涼しさが感じられますが、会員の皆様にはくれぐれも、ご自愛の程お祈り申し上げます。



校長 組坂 法人

宰府の風

「風の音にぞおどろかれぬる 今日この頃。今夏の「生命にかかわる暑さ」等と称された記録的な猛暑も過ぎ去り、秋の気配がそこそこ。日暮れ時の切ない蝉の鳴き声かいつの間にか涼やかな虫の音に変わっている。ともあれ平成最後の夏。西日本豪雨、異例の逆走、迷走台風、そして大地震。次から次と想定外の自然の猛威に晒された夏として記憶されよう。「備えあれば憂いなし」とは、いうものの、自然の力の前には如何ともしがたい。ひたすら過ぎ去るのを祈るしか手が無い。これが現実である。太陽系に輝く青く美しい星と称されるもの、時として地上の生き物に対し牙をむき出しにする。地球そのものの命の営みを無視して人類は余りにも身勝手に自分たちの都合に合わせて環境を変化させてきた。地球も生命体のひとつであることを忘れて。この夏の異常気象は決して日本だけに限ったことではない。世界各地で起きている。地球温暖化の問題については詳しくは承知していないが、この問題の本質は人間生活の在り方そのものである。車が空を飛ばす時代が遠くならずやってくる。人間の欲望とはどこまで行けば満たされるのか？

冒頭の和歌の一節ではないが、地球の声ならぬ声か耳底に響き、季節の移ろいを風の音に捉えることができるならば、とそんなこと思っている。山の装い、川のせせらぎ、雲の流れ、緑の移ろい、月の満ち欠け、星の輝き等々、私たちの生活圏に織りなす自然の風景に心し、大切に守っていく。そう、そうした心がけをこの星が求めているのでは？この星が与え続けた恵みに思いを為し、人として穏やかな生活が営み続けられるように、豊かな地球の自然と向き合っていきたいものである。先の台風、大地震で犠牲になられた方々へのご冥福を心よりお祈りし、並びに被災された方々へのお見舞いを申し上げます。 合掌